

平成27年12月11日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

富士山大沢崩れにおいて小規模な土石流が発生 下流への被害は発生していません

12月11日(金)の大雨により大沢崩れから土石流が発生しました。

土石流は、監視カメラで確認したところ、大沢川遊砂地にて捕捉し、下流域での被害は発生していません。この土石流は、砂防施設により捕捉されたため、今後、下流へ被害をもたらす恐れはありません。

14時現在、大沢川遊砂地上流の岩樋^{いわどい}上流の監視カメラによると、流量はすでに減少しています。富士砂防事務所では、引き続き、監視を行って参りません。

大沢川上流の御中道^{おちゅうどう}雨量観測所で時間最大雨量 22mm (暫定値：7時～8時)、累計雨量 119mm (暫定値：14時現在) を観測し、8時頃に土石流が発生していることを確認し、警戒体制をとりました。

大沢川遊砂地に達する、大沢崩れからの土石流の発生は、平成27年4月20日以来、本年2回目になります。

1. 場 所：大沢川遊砂地 岩樋^{いわどい}上流 (監視カメラ) (富士宮市上井出地先)^{かみいで}
(別紙-1)
2. そ の 他：管内の他の砂防施設に今回の大雨による被害は発生していませんが、詳細については、今後、調査を進める予定です。
3. 配 布 先：富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所
事業対策官 鈴木 豊
調査課長 黒田 英伸
TEL 0544-27-5221 (代表)
FAX 0544-27-5986

平成27年12月11日 土石流発生状況 「監視カメラ映像（岩樋上流）」

